

○議長（堀江 政武君） 日程第1、市政一般質問を行います。

本日の登壇者は4人を予定しております。

それでは、届け出順に発言を許します。8番、小田昭人君。

○議員（8番 小田 昭人君） おはようございます。

未来研究会の小田でございます。市長は昨日の小島議員の最後の質問で、自分の性格を間接的におっしゃられたように感じております。私が思うには攻めだるま、あるいは突進型のイノシシとこういうふうに解釈したわけでございます。いやいや、違うよということであれば、お許し願いたいと思います。

きょうから入江議員もヘアスタイルを一新されております。市長も胸襟を開いて耳を傾けるところは傾け、そして攻めるところは攻め、お願いするところはお願いして、対馬市発展のため御尽力賜れば幸いかと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、通告に従いまして三つの質問をさせていただきます。

LED照明について、看護師等専門学校の新設について、介護保険についての質問をさせていただきます。場合によっては1問1答させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

平成22年の12月定例会で質問いたしましたLED照明について、再度質問させていただきます。

4年前に私は対馬市が支払った電気代について調査いたしました。もちろん電気代には事務用のパソコン、クーラー、コピー機、冷蔵庫等々含まれていることはいうまでもありません。平成21年度の対馬市の消費電力の決算額は、一般会計及び特別会計あわせて約3億5,500万円の決算額でありました。その決算額の中身についても小学校、中学校、幼稚園、消防署を含めた消防本部及び消防団の詰め所、格納庫等々の電気代についても調査いたしました。今回は街路灯、いわゆる防犯灯について再度質問させていただきます。

LED導入については、平成21年度から検討を進めているとの回答でありましたが、LED街路灯の進捗状況及びLED設置に要した金額をトータル的にお尋ねいたします。

私は4年前の質問のときに、美津島町の街路灯の21年度決算額に基づき、対馬6町の街路灯、約4,600基について電気代は約2,000万円と推計したわけですが、そのときの松原政策補佐官の回答では、4,634基で、私どもがとらえておる金額は1,353万5,000円程度の金額であるとの回答でありました。

その後、調査した結果、平成22年度で4,634基で約1,993万円で、1基当たり4,300円でありますので、私の推計金額が正しかったものと思っております。ちなみに平成23年度が設置数685基増えまして5,319基で、2,053万円の1基当たり3,860円であります。平成24年度が対前年度より984基増えて6,303基で、約1,824万円の

1基当たり2,890円。そして平成25年度が対前年度より11基減りまして6,292基で、1,766万円の1基当たり2,810円の電気料金であります。平成22年度が1基当たり4,300円、平成25年度が1基当たり2,810円で1基当たり1,490円の減額となっています。

また、街路灯の修繕料金も平成22年度の決算額で約646万円、平成25年度で約348万円で、半減に近い修繕料金となっています。

街路灯の電気料金及び修繕料金とも費用対効果が如実に数字として現れていますが、市長はこの決算額についてどう思われたか、回答をお願いします。

最初に街路灯などに取りつけたLEDは避雷針がなく、雷が落ちて街路灯を取り替えたということも伺っております。現在のLEDは雷も寄せつけないほどの技術も向上いたしております。

次に、看護師等専門学校の新設について、お尋ねします。

平成26年6月の定例会において一般質問させていただきました。再質問となりますがよろしくをお願いします。

昨年6月の質問の中でアンケートでも取っていただいて、さらに論議を進めることにいたしましたのでよろしくをお願いします。

アンケートは、昨年の10月に島内中学校の生徒、保護者全員に意識調査が行われました。生徒数943人中871人、率にして93.25%の回答を賜りました。また、保護者934人中738人、率にして79.1%の回答を賜りました。アンケートに御協力いただきました生徒の皆さん、そして保護者の皆様に対しまして厚くお礼申し上げますとともに、このアンケートを無駄にすることのないよう私なりに目標に向かって頑張りたいと思っております。

そこで、市長にお尋ねします。このアンケートの結果についてどう思われたか、率直な感想をお尋ねします。

私は2月9日に学校法人玉木学園が運営しています長崎市内の長崎玉成高等学校に視察に行っていました。この長崎玉成高等学校は、募集定員140名で普通科60名、生活技術科20名、福祉科20名、衛生看護科40名の男女共学の高等学校であります。

特に衛生看護科について鬼塚理事長から説明を受けました。衛生看護科は5年一贯の看護教育を行っているとの説明で、全国的に見ても准看課程3年、正看課程2年とかの区切りはなくなりつつあるとの説明でありました。対馬からも優秀な看護師が卒業されたとも言っておられました。

なお、五島市の高等学校衛生看護科3年、これは准看課程であります。当初は医師会が運営していたそうでございます。今は長崎県が運営しております。富江町の議会も閉校になった学校跡地を何とか利用したいということで、看護学校の設立をということで何回も視察に訪れたそうでございますけど、同じ離島に二つの専門学校はいかかなものかということで、現在あきらめて、

今は視察はあっていないそうでございます。

そこで、私が対馬に看護専門学校新設はどうでしょうかということを探ねましたところ、新設はハードルが高いと。今ある三つの高等学校のうち1校に看護科を長崎県に働きかけたほうがよりベターだと。看護科40名が難しいなら看護20名、福祉20名のミックスした看護福祉課程も可能であるとの説明でありました。1学級40名いれば運営が可能であるそうでございます。

さて、いよいよ地方創生に向けた地方人口ビジョン2015年から2060年までと、地方版総合戦略2015年度から2019年度までの5カ年の財政目標、施策を策定しなければなりません。中村知事も3月の県議会の挨拶の中で、地方創生を全面的に推進していく旨の挨拶がありました。対馬市の政策目標に、ぜひ看護等の専門課程の設置を推進していく旨の政策を盛り込んでいただきたくと思いますが、市長の考えをお聞かせ願います。

あわせて昨日、脇本議員も質問されていましたが、平成26年度の補正予算第7号で地方版人口ビジョン及び総合戦略策定業務を委託料として約1,200万円予算化されていますが、業者任せでなく市職員、議会、市民が一体となって骨格ぐらいは策定する必要があると思いますが、市長のお考えをお聞かせ願いたいと思います。

次に、介護保険について質問させていただきます。

3年ごとに見直されます介護保険制度であります。4月で第6期目となります。介護事業者を支払われる介護報酬が9年ぶりに2.27%マイナス改定になるわけでございます。平成25年度介護保険特別会計の歳出の2款保険給付費決算額は約32億円ですが、この決算額をベースに試算した場合、対馬市の保険給付費の減額は幾らほどになるか、お尋ねをいたします。

次に、平成27年度介護保険特別会計当初予算の歳出2款保険給付費は約34億2,500万円となっていて、4月から2.27%のマイナス改定にもかかわらず平成25年度の決算額より2億2,500万円程度の増額となっています。また、介護保険料も一昨日の対馬市介護保険条例改正では、介護報酬が2.27%マイナス改定されたにもかかわらず大幅にアップしていますが、介護施設を今後3年間で増やす計画があるのか、あるいは介護サービスを受ける人が増える関係で介護給付費が増える見込みなのか、あわせてお願いします。

以上よろしくお願ひいたします。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） おはようございます。小田議員の御質問にお答えさせていただきます。

1点目のLED照明についてでございます。

御存知のように、もうこのLEDの照明につきましては、島内に防犯灯で5,149灯設置をしております。街路灯、道路、漁港等にありますが街路灯を含めると6,255灯設置をしてい

るところであります。

これらにつきまして、23年度、24年度に7,100万円をかけましてLEDに替えております。これにつきましては、もう既に先ほど小田議員のほうからお話がありましたように、一定の効果が上がるということになった次第でございます。

ちなみに電気料金だけを見た場合も、23年度から設置をいたしましたので、23年度の電気料と比較をしたときも2,000万円の電気料に対して約1,700万円ということで、2年後には設置後には約290万円ほど減額になるというふうに、効果というものは即挙がってきた事業だというふうに思っております。

今後につきましても順次このLEDに替えていきたいと思っておりますが、少なくとも防犯灯につきましては、現時点においては既存のものについてはもう既に100%終わっております。ただし、街路灯については、まだ全てが終わったわけではありません。これらについては順次扱っていききたいというふうに思っております。通常の防犯灯のような形ですぐ更新ができない部分もあるものですから、適宜やっていきたいと思っております。

また、2月19日のときの対馬エネルギーコンソーシアムの報告会でも申し上げさせていただきましたが、トンネルの照明関係につきましても、計画に乗せてLEDに変更をしていくという方向で計画を進めているところであります。

防犯灯でも明らかなように効果がすぐに出てくる案件でございますので、しっかりと取り組んでいきたいと思っております。

2点目の昨年の6月議会において小田議員のほうから一般質問がありまして、お約束をしておりましたアンケート、中学生、高校生、それから保護者を対象としたアンケートについては、アンケート自体は10月に実施をさせていただきました。そして、12月の初めに中間報告、そして年末に最終的な形というものができてきた次第であります。この結果を見てどのように感想をというふうなお話でございます。

実際、看護学校を希望したものであるというのが、中学3年生の子供たちで5名程度だったというふうにこちらは把握をしております。これが多いのか少ないのか、そして現状とやはり先を描き出せない子供たちの部分もあろうかと思っております。私ども大人がどのように導いていくのかという部分も当然そこにはあろうかと思っております。今後の高齢化社会を迎えていく中での学校のあり方、また3校を存続させていくための重ねて、このことも私どもは組み立てていかねばならないというふうに思います。

そういう意味におきまして、小田議員のほうから御提案がありました福祉20、看護20の40名、ひとつの組み立てがどうしても40という数じゃないと組み立てられない部分があります。40というのは無理があるから20、20というのがいいんじゃないかという御提案でござ

います。

それらの提案を踏まえて、またアンケートの結果というの、そして先ほど言いました3校のあり方ということも考えながら、また、特に豊玉高校におかれましては、今、もう既に学校自身もいろんな動き出しを校長先生みずからされてある部分もあります。そことも連携をしながら、この問題には対処していきたいと思っておりますし、その結果を踏まえて県のほうにも働きかけをしていかねばならないことだというふうに思っています。地方創生施策との連動というお話もございました。それらも念頭に置きながらいきたいと思えます。

次に、3点目の介護保険のお話がありました。これにつきましてはもう御存知のように3年ごとに計画を見直しをしている。本年度はその見直し年度でありまして、27から29までの第6期の計画の今、最終調整を行っている段階であります。

ことしの1月に、国のほうから平成27年度の介護報酬の改定率が示されました。全体ではマイナスの2.27%というものでございます、御存知のように。

このことで介護保険料を含めた介護保険事業費全体の見直しを余儀なくされ、去る2月27日開催の第6期介護保険事業計画策定委員会に提案をし、了承をしていただいたところであります。

減額率を25年度の給付費決算額をベースとしたとき、減額は幾らとなるのかという御質問でございますが、減額率では全体で三角、マイナスの2.27%となっておりますが、その内訳は処遇改善がプラス1.65%、介護サービスの充実というものがプラス0.56%、そのほかがマイナスの4.48%をあわせて2.27%の減額というふうになります。

また、このマイナス2.27%も在宅分がマイナス1.42%、そして施設分がマイナス0.85%となっております、複雑な要素を含んでおりますので、容易には計算ができないものもございます。平成25年度の給付費決算額は32億145万4,866円でございます。複数の項目にわたり率が異なりますので、ただ単に決算額に減額率を掛けますと7,300万円あまりの減額になります。

この定例会に御提案させていただいております27年度介護保険特別会計の保険給付費の予算総額は、34億2,400万円を計上させていただいておりますが、今回のこの介護報酬のマイナス改定があつたにもかかわらず、27年度予算では保険給付費が増加をしております。この原因でございますが、予算が増える要因というのがやはり65歳以上の高齢者の増加はもとより介護認定者の増加に伴い、介護サービスを受ける方々が増えていることによるものであります。

厚生労働省が発表している平成26年9月末における介護保険事業状況報告では、第1号被保険者数が3,254万人、要介護、要支援の認定者数がうち583万人、率にしますと17.9%の方が要介護の認定を受けていらっしゃいます。これに対し、本市の場合は1号被保険者数が1万701名、要介護認定者数が2,686人、率に直しますと25.1%と、全国平均よりも

7.2ポイント高くなっております。

また、高齢化率を見ても、国全体が26%でございますが、対馬市においては33.1%でありますし、行政区によってはもう既に40%を超している地区もございます。

15歳から64歳までの生産労働人口が少ない対馬市では、どうしても介護保険料が高くなりますので予算も増えることになっております。どうか御理解いただければと思っております。

以上です。

○議長（堀江 政武君） 8番、小田昭人君。

○議員（8番 小田 昭人君） LED照明につきましては費用対効果が現れているということで、年次計画を立てて推進していくという回答でございますので。今やこのLEDはイルミネーションあるいは電光掲示板、漁船の集魚灯などあらゆる分野において著しく普及しています。そして、地球が存在する以上、照明器具は永遠に不可欠であります。

施政方針説明でもLED照明設備を図っていくことでありますが、自主財源の乏しい対馬市におきましては、いかに自主財源を減らすかが今後の財政運営にも影響が出てくるものと思っております。

対馬市の平成25年度一般会計歳入の決算額が約353億8,300万円でそのうち市税の歳入決算額が約27億250万円で、歳入総額の1割にも満たない約0.8割と、自主財源に乏しい対馬市であることは市長も御承知のことと存じます。

自主財源1,000万円あれば、ハードの仕事が1億円の仕事がされることは市長も御存知かと思えます。対馬市が今後、今まで払ってきた年間3億5,500万円の電気代が数年後、10年後、幾らになるか、見守っていきたいと思っております。

それから、看護師の専門学校の設置については、長崎県にも協力を求めていくということでございますので、対馬市の中学生の卒業生が大体310名から20名の推移でございます。そのうち230あるいは240名が対馬3校に進学をされております。さらに対馬3校のうち約20名が毎年正看を目指して進学をなされております。よって、この看護課程の20名につきましては、中学生からもし対馬市にそういう専門学校ができれば、20名の確保はたやすく入学ができるものと思っております。

それから、介護保険につきましては、素人考えでは2.27%マイナスになったんだから介護保険料も当然私は下がるものと思っておりましたけど、今、市長の答弁ではいわゆる認定率が25.1%と国より7%もアップしている。また、後期高齢者についても全国平均26%に対して対馬市は33.1%という、このような数値になっております。

介護保険につきましては、埼玉県のと光市、ここは和光方式といって全国的にも有名でございます。いわゆる介護施設にカジノあるいはトランプ、リハビリ施設は当然でございますけど、そ

ういう施設を設けまして要支援は1・2まであるんですかね。そして自宅に帰って自立ができるような人については卒業証書を渡しておるそうでございます。

対馬市もいろいろリハビリ等考えておられると思いますけど、認定率あるいは介護サービスが何人かでも少なくなるような施策を講じていただきたいと思います。

それから、地方創生につきましては、石破大臣も出演され、市町村2カ所の放映がなされておりました。御存知のように島根県の海士町でございます。半農半漁の町で人口2,400人、6人に1人、いわゆる400人がIターンと言っておられました。また、山内町長も出演されておまして、学校が閉校になる寸前に学生に旅費も出す、授業料も出しますということで学校閉鎖を免れたという放映もなされておりました。

そして、鹿児島県の鹿屋市の始良町の柳谷集落ですか、約300人の集落で、この柳谷を薩摩言葉ではやねだんと言うそうでございます。やねだんの公民館長の豊重さんも紹介されておりましたが、自治体から一銭も金は要らないということで、この300人の集落が焼酎の特産品あるいは自前の特産品等をつくって、今国内外から500人の視察団が訪れているそうでございます。

石破大臣もおっしゃっておられましたように、国におんぶで抱っこの自治体には人材派遣もしません、お金も出しませんよと。自治体みずからが知恵を絞り、そして汗を流した自治体については人材派遣あるいは財政支援も惜しみなくやっていきますよ、ということをおっしゃられました。

あと17分程度ありますが、このLED照明について、具体的に施設から市長、市役所からやっていくのか、学校からやっていくか、あるいは消防施設等からやっていくか、何か考えがあればお知らせ願いたいと思います。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） LEDの問題につきましては、街路灯のほうが一度には物事が進まないという話を先ほどさせていただきました。順次取り組んでおるところでございます、この26年度も6月議会において漁港関連につきまして補正で対応をさせていただいたのが一部ございます。

そして公共施設内のお話もございました。これにつきましてはLEDに全て替えようかという話もあったんですけども、基板の関係とかいろいろ問題がありまして、省力化する電球には替えて電気料の軽減には今既に終わっているところでございます。

今後も先ほど申しましたようにトンネル関係についても何カ所もありますけれども、そこは補助事業を使いながら組み立てていく予定で物事をやはり経費の節減、一般財源の乏しい私どもにとってもそこをとり組まざるを得ないというふうに思っています。

○議長（堀江 政武君） 8番、小田昭人君。

○議員（8番 小田 昭人君） LEDにつきましては、それで御了解をいたしました。

なお、看護師等専門学校につきましては、いわゆる長崎県あるいは地方戦略にも組み込んでいただくとの回答でございますが、この総合戦略策定業務、これをどのように押し進めて対馬版をつくって行かれる考えであるか。今、市長が考えをお持ちであればお聞かせを願いたいと思います。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） この人口ビジョンとか総合戦略の問題については、市民はじめ皆様の意見というのを会議において組み立てていくという方向で今準備をしているところでございます。当然ながら、議会の方からもそこには出ていただきたいというふうに思っております。

○議長（堀江 政武君） 8番、小田昭人君。

○議員（8番 小田 昭人君） ぜひ対馬市一体となったこの総合戦略を組み立てていってもらいたいと思います。

それから、最後に介護保険制度につきましては、市長の質問でわかりましたけど、長崎県が介護給付率は全国でワーストワンであるそうでございます。佐々町あたりはボランティアである施設に集めて、いろいろ介護サービスをして9.2%ぐらい介護給付率が下がったという放映もなされておりました。ちなみに埼玉県はいわゆるそういう方式を取っておりますので、介護サービスの低い率で全国ベストワンだそうでございます。

いずれにいたしましても、少子高齢化というこの対馬市の独特の事情でございますので、介護サービスはもちろん介護施設等々、そして介護担当につきましても、あらゆる面でこのサービス利用が低下することをお願いする次第でございます。

あと12分程度でございますけど、これで私の一般質問を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

○議長（堀江 政武君） これで、小田昭人君の質問は終わりました。

○議長（堀江 政武君） 暫時休憩とします。再開は10時55分からとします。

午前10時39分休憩

午前10時54分再開

○議長（堀江 政武君） 再開します。

19番、作元義文君。

○議員（19番 作元 義文君） おはようございます。久しぶりに一般質問席に着くことができました。対馬市の現状とこれからの課題というような格好で一般質問をさせていただきます。新